

産業組織論

加納 和子 准教授

1) 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

企業行動や消費者購買行動について、産業組織論の手法を用いた実証分析を行っています。企業行動については価格の分析を中心としており、価格調整費用などの影響に着目した分析を行ってきました。消費者購買行動では購買の決定要因としての家庭内在庫について分析を行っています。

2) 指導方針

初年次では、必要に応じて産業組織論の実証分野における主要な先行研究論文を読み、主要な実証産業組織論の手法を習得します。また並行して研究テーマおよび手法を決定します。2年次以降は学位論文作成に向けて指導を行います。学位論文は少なくとも3部からなり、それぞれ学術雑誌への投稿を目指します。

3) 学生に対する要望・その他

産業組織論、計量経済学、マイクロ経済学、ゲーム理論についての知識と理解が必要です。また、StataやMatlab等を用いての計量分析にも習熟が必要とされます。